

2022年4月に4年生になる学生のみなさんへ 島根大学教育学部・教職大学院 一貫プログラムのおしらせ

新奨学金制度も創設!!

※詳しくは裏面の「よくある質問」をご覧ください

学生募集

一貫プログラム第二期生

島根大学
教職大学院とは

学び続ける教師、スクールリーダーの養成

地域の学校教育現場が有する教育課題に対応することができる高い総合力を有した教員の育成を目指しています。

理論と実践の往還

大学での最新の教育・学習理論や研究手法の学びと、協力校(実習校)での実践を往還しながら、2年間を通して「地域の教育課題に関する研究」を進めます。

教職大学院で育成を目指す資質・能力3つの柱

「学び続ける教師」に求められる「学校創造力」、「授業デザイン力」、「子ども支援力」を育成するカリキュラムを展開しています。共通科目ではこれら3領域を広く学び、選択科目では研究課題に応じて1つの領域を深く学ぶことができます。

授業デザイン

教科指導についてもっと
深めたい!

各教科の教科内容や
教材開発に関する学びを充実!

優れた教科指導力を持つ教師

現場に出る前に
もっと実践を積んで
おきたい!

4年生のうちから

教職大学院の単位がとれる

教職大学院修了までに必要な単位は計46単位。通常、2年間で修得するこれらの単位のうち、8単位まで教育学部4年生のうちに履修できます。

学校の組織をもっと
知っておきたい!

子どもをもっと
深く理解できるように
なりたい!

学校創造

スクールリーダーに
求められる学びを充実!

組織の中で力を
発揮する教師

地域と連携した
学校をどう作る?

じっくり学べる 3年間

現職教員の教職大学院生と共に学ぶ

教職大学院では、学部卒業後に教職大学院に入学するストレートマスターと呼ばれる学生と、現職教員の学生と一緒に学びます。現場の声を日常的に聞きながらディスカッションしていきます。

子ども支援

多様性を尊重する
子ども理解・支援の
ための学びを充実!

子どもを深く理解し
支える教師

もっと
特別支援教育を
学びたい!

申請受付期間／令和4年1月24日(月)～28日(金)

選考日／令和4年2月4日(金) ※詳しくは裏面をご覧ください。

島根大学教育学部・大学院教育学研究科教育実践開発専攻(教職大学院)

令和4年度島根大学教育学部・教職大学院 一貫プログラム学生選考要項

1. 本プログラムに申請できる学生の要件

島根大学教育学部に在学する学生のうち、学部を卒業後に引き続き教職大学院への進学を希望する者で、3年次前期までに次の基準に該当していること。

- ①教育学部の卒業要件単位のうち96単位以上を修得していること
- ②教育体験活動のうち「学校教育実践研究Ⅱ」、「学校教育実習Ⅲ」、「学校教育実習Ⅳ」、「学校教育実習Ⅴ」の単位を修得見込みであること又は履修資格を有していること
- ③GPAが3.00以上であること

2. 募集人数 5名以内

3. 本プログラム履修の申請方法

■申請受付期間 / 令和4年1月24日(月)～28日(金)

■申請書類

- ・教育学部・教職大学院一貫プログラム履修申請書
- ・志望理由書
- ・成績証明書

※「教育学部・教職大学院一貫プログラム履修申請書」および「志望理由書」は、島根大学教育学部Webサイトからダウンロードしてください。

■申請先

島根大学学生センター教育学部担当
(電話)0852-32-6035

4. 一貫プログラム履修に係る選考

■選考日 / 令和4年2月4日(金)

※集合時間等は、履修申請者に通知します。

■選考方法 / 志望理由書、成績証明書、および面接

※面接は一人30分程度を予定しています。

5. 履修承認(合格)の発表

■発表日 / 令和4年2月21日(月)

■発表方法 / 履修申請者に対し、書面にて通知します。

一貫プログラムよくある質問

Q 教職大学院の入試を改めて受ける必要がありますか？

A 学部での卒業や教職大学院への入学は従来の通りです。したがって、教職大学院入試も受験する必要があります。ただし、本プログラムを履修している学生向けの入試を行います。

Q 就学途中で教員採用試験に合格した場合、採用はどうなりますか？

A 入学前や1年生のときに合格した場合、たとえば、島根県や鳥取県等では、大学院修了まで合格を維持したまま、採用を待っていただけの制度があります。

Q 途中でプログラムの履修をやめることはできますか？

A 「教育学部・教職大学院一貫プログラム履修中止願」を提出することにより、本プログラムの履修を中止することができます。しかし、ぜひ教職大学院修了までの3年間の学びを達成してほしいと願っていますので、よく検討して本プログラムへの申請を行ってください。

Q 教職大学院への進学時、入学金はかかりますか？

A 通常通り入学金を納めていただけますが、入学金と同額程度の奨学金が支給される予定ですので、実質的に入学金はかかりません。

Q 指導教員は、学部と教職大学院で変わりますか？

A 基本的に学部の指導教員も、そのまま指導教員のメンバーに加わるような体制を整えています。

教育学研究科教育実践開発専攻 (教職大学院)(専門職学位課程)の概要

1. 教育・研究の概要

現代社会・地域社会の有する教育課題を解決することのできる高度の専門的能力及び優れた資質を有する教員の養成を行います。地域の教育課題に立脚しながら、教育実践研究(教育実践を、関連する学問分野の視点や手法を用いて考察し、教育現場に役立つ新たな知見を見出そうとする研究)を進めるとともに、その成果を広く社会に還元し、山陰地域の教育力向上に貢献します。

2. 履修基準(最低修得単位数)及び履修方法、修士論文及び学位等

教育実践開発専攻(教職大学院)では、目指す教師像である「学び続ける教師」に必要な「学校創造力」、「授業デザイン力」、「子ども支援力」の3つの資質・能力をより高いレベルで身につけた「スクールリーダー」の養成を目標として教育課程の編成を行っています。下記の「授業科目の区分」の選択科目、課題研究科目、実習科目の履修にあたっては、これら3つの資質・能力のいずれか一つを柱としながら学生のニーズに応じたオーダーメイド型の履修を進めていきます。

(1) 履修基準等

右の表にしたがって授業科目を履修し、2年間で46単位以上を修得しなければなりません。

●課題研究科目では、指導教員の下で、学校教育現場が抱える教育課題の解決を目指した研究テーマを設定し、「実習科目」での学修と関連づけながら教育実践研究を進めていきます。

●実習科目では、「課題研究科目」で設定した研究テーマをふまえながら、公立学校において教育実践研究と長期インターンシップを行います。

授業科目の区分	最低修得単位数
共通科目	20
選択科目	12
課題研究科目	4
実習科目	10
大学院共通・連携科目	
合計	46

(2) 修士論文及び学位

修士論文は課しません。実習等を含めた2年間の専門職学位課程の修了要件を満たすことにより、「教職修士(専門職)」の学位を取得できます。

3. 取得資格等

次の教育職員免許状の取得資格が得られます。幼稚園教諭専修免許状、小学校教諭専修免許状、特別支援学校教諭専修免許状、中学校教諭専修免許状、高等学校教諭専修免許状
※専修免許状を取得するためには、当該免許状の一種免許状を有している必要があります。